

【当日出された意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
1	<p>（大正あんしんネット《メディカルケアステーション》） 医療や介護職種を中心に、患者情報の共有や災害時の連絡ツールとして運用している「大正あんしんネット」に、できるだけ多くの職種から参加いただきたいと考えている。</p>	榎原委員	主に大正区内で勤務されておられる医療や介護事業の関係者の皆さま方へ、災害時に区役所からの情報を発信できるという意味では有効なものであると考えており、当面は試験的に、災害時の連絡ツール機能に参画させていただきたいと考えている。	吉田区長	令和元年8月28日に区役所として登録完了。	議事録 4-10ページ
2	<p>（認知症高齢者等の行方不明時のメール配信） 大正区の確認依頼メール発信実績が1件という事であるが、これをいいこととして捉えているのか、他区の状況も踏まえて分析していただきたい。</p>	吉田区長	行方不明になったとの連絡が入るも、メール配信するまでに発見されたケルもあり、そういった場合は実績にカウントされない。 他区の状況も確認のうえ、次回までに分析する。	福祉担当/ 区社協	登録者の状況や確認依頼メールの発信に至らないケースについては、別添の『地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」の取組状況について』のとおり。	議事録 11-15ページ
3	<p>（区民意識調査） 議題1の「区役所が所管する協議体の平成30年度の振り返りについて」の中で成果指標に多く用いられている「区民意識調査」について説明してほしい。</p>	各委員	区民意識調査は基本的には無作為抽出のサンプルに対して、できるだけ大正区の人口の偏りに合わせたような形で統計処理をしている調査である。 大正区役所の施策の成果を問う非常に貴重で重要なツールであり、全体的にどのような調査で、どういう分析をしているかについて、改めて説明する。	吉田区長	別紙「大正区区民意識調査について（概要）」のとおり	議事録 15-22ページ
4	<p>（子どもサポートネット） 子どもサポートネットの実績について、具体的支援により課題や状況などが解決され、改善された児童の割合が4%と数字で表されたとおり、なかなか解決や改善に結びつかない。</p>	弥十郎委員	子どもサポートネットについては、地域福祉推進会議において、次回が次々回で一度取りまとめて詳しくご説明したいと考えている。 そのころには重大虐待を防ぐための方向性も見えてくると思う。	吉田区長	次回（第3回目）以降の地域福祉推進会議において議題として取り扱う。	議事録 26-27ページ

【当日出された意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
5	<p>(見守りノート) 要介護者支援システムにおいて活用される「見守りノート」について、災害時の内容に特化するのか、あるいは、平時の福祉的な見守りの要素を加えるかをはっきりさせる必要がある。</p>	鈴木委員長	「見守りノート」は、災害時に誰一人逃げ遅れる人がないようにする仕組みであることを明確にします。	吉田区長	見守りノートは別添資料番号2のとおり。今後、地域に対して活用方法について説明し、該当者に配付する。	議事録 32、39ページ
6	<p>(見守りノート) 見守りノートの説明にあった「個別支援プラン」について、これまでも、緊急連絡先やかかりつけ医等の情報を書いて、冷蔵庫に張ったり、ペットボトルに入れておく取り組みがなされてきたが、なかなか継続して活用がなされない。今回の取り組みについて何か工夫が必要だと考える。</p>	中村委員	見守りノートは、地域の支援者が見守り活動を実施する際の1つのツールとして活用することも想定している。見守り活動には年1回程度の訪問も想定しており、その際に持参する等すれば継続性が保てると思う。	福祉担当/ 区社協		議事録 34-36ページ